

# 「いのち」の教育実践事例

## ☆最上町の実践

(最上町立大堀小学校、最上町立向町小学校)

生命の継承の  
大切さに  
関する教育

### － 実践のテーマ－

地域の方々と関わりながら、自分たちの生命が大切に守られ、繋がれてきたことを感じ考える取組みが行われています。その実践の一例を紹介します。

#### ○ 最上町立大堀小学校の実践

- 学校運営協議会が中心となって準備を進め、11月に校内で「地域写真展」を開催した。

大堀地区で過去に撮影された写真を地域に募集し、その掲示と写真展の運営を地域の方々と協力して行った。約1週間の期間中に200名を超える方が鑑賞し、激動の時代を生き抜き、いのちを繋いできた先人に思いを寄せる感想が多く寄せられた。

児童・保護者・祖父母・地域住民の地域理解や地域への愛着を深めることにつながった。

#### ○ 最上町立向町小学校の実践

- きれいな花が咲き続けるように「人権の花」を大切に世話してきた。天候に合わせた水の管理を飼育栽培委員がよびかけ、11月まで地域の人たちの目を楽しませて喜ばれた。例年の活動を見直して主体的に動くことで、人とのつながりや人の役に立ったことを感じ、自分の生き方について考える機会になった。

- 「ふるさと学習」で最上町の魅力を学びながら、それに関わっている町民に繰り返し会って話を聞いた。その人が抱いている故郷や仕事への思い、いろいろな生き方に触れることができた。そして、自分たちも最上町が大好きで、未来の最上町のために自分たちに何が出来るかを考え、どうしたら実現出来るかを模索している。

大堀小学校地域写真展  
子どもは父と母に命を受け、やがて家庭とその土地の自然と人の風土の中で育ちます。人として大切なものは地域で造られます。そしてその地域は、翻弄され振り回されながら乗り越え生き抜いてきた、時の流れで作られました。故郷を作り上げた時代と暮らした時の流れ、一枚一枚の写真の中から読み取っていただければ幸いです。この写真展が子どもたちとご覧になられた皆様に地域の持つ奥深さと重きを(その中で生きた人の姿を)再発見していただける機会となりますように。

大堀小学校 学校運営協議会



地域写真展の様子



みんなが見て「きれいだな」と思ってくれるといいな



「人権の花」に水をかけている様子



冒険ってこわくなかったのかな  
今、最上町で何をしているのかな

大場満郎冒険学校で話を聞いている様子